

大容量でもワンタッチで開く、世界初^(*1)、「電動引き出しルーム」を搭載
大容量冷蔵庫「たっぷりビッグ すみずみクール」シリーズにプレミアムタイプを追加
「電動クローザー」や「全室エコアラーム」の採用で、省エネにも効果的

日立アプライアンス株式会社（取締役社長：石津 尚澄）は、世界で初めて、ボタンを押すと電動で引き出しが開く「電動引き出しルーム」を冷凍室下段と野菜室に搭載した、大容量冷蔵庫「たっぷりビッグ すみずみクール」シリーズのプレミアムタイプ R-W5700 を、最上位機種として2月27日から発売します。

本製品では、新たに開発した日立独自の「電動引き出しルーム」を搭載し、冷蔵庫の大容量化に伴い重くなった引き出しルームを、従来機種^(*2)に比べ約1/10の力で楽に開けることができます。また、引き出しルームを電動で引き込む「電動クローザー」や「全室エコアラーム」の採用で、半ドアによる冷氣漏れを抑えるため、省エネに効果的です。

型式および発売日

型式	定格内容積	本体希望小売価格	発売日	月産台数
R-W5700(ツインドア)	565L	オープン価格	2月27日	4,000台

新製品の主な特長 <「たっぷりビッグ すみずみクール」プレミアム R-W5700 >

1. 世界初、「電動引き出しルーム」を搭載

本製品では、世界で初めて、「電動引き出しルーム」を搭載しています。これにより、大容量の冷凍室下段や野菜室の引き出しルームを、ボタンを押すだけで、従来に比べ約1/10の力で楽に開けられます。なお、冷蔵室には、引き続き「かるピタドア」を採用し、軽く開閉できます。

2. 「電動クローザー」で半ドア防止

冷凍室下段と野菜室を閉める際に、引き出しをしっかりと最後まで押し込まなくても、新たに搭載した「電動クローザー」で自動的に引き出しルームを引き込みます。これにより、半ドアを防止することで、省エネや食品の鮮度保持にも効果があります。

3. 「全室エコアラーム」で省エネに配慮

全てのドア、引き出しについて、半ドア状態が約1分間続くと、冷蔵室ドアの操作パネルのLEDが点滅し、同時にアラーム音が鳴ることで、半ドアを報知する機能「全室エコアラーム」を採用しました。光と音により認知性の向上をはかり、むだな冷氣漏れを抑えることで、省エネに配慮しました。

4. 深みのある新色「ステンレスディーブブラウン」を採用

本体色には、深みや光沢のある「ステンレスディーブブラウン」を新たに本製品でのみ採用しました。オープンキッチンなどに設置することを想定し、周囲のインテリアとの馴染みやすさと高品質なデザインを追求しました。

(* 1) 2007 年 2 月 13 日現在。日本国内メーカーが販売している家庭用冷蔵庫において。

(* 2) 従来同等機種 R-SF54VM (535L) との比較。

需要動向と開発の背景

2006 年度の家庭用冷蔵庫 (冷凍庫を含む) の市場は、前年並みの約 457 万台と見込まれます。この中で 500L 以上は、前年比約 2 倍の伸長を示しており、今後さらに大容量化が進むと予測されます (日立調べ)。これにより、冷蔵庫の各室の大容量化が進み、冷凍室、野菜室の重量は重くなり、引き出しルーム開閉のために大きな力が必要となってきました。

今回、家族の多くが使用する冷蔵庫において、ユニバーサルデザインの視点も考慮し、565L の業界最大容量でもドアや引き出しが楽に開閉できる製品を開発しました。

また、日立は、社会的にますます環境性能が重視される中、積極的に省エネ化にも取り組んでいます。昨年発売した「たっぷりビッグ すみずみクール」シリーズ (535L 以下の 6 機種) において、「平成 18 年度省エネ大賞 (省エネルギーセンター会長賞)」を受賞しました。

お客様からの問い合わせ先

お客様相談センター 電話 / 0 1 2 0 - 3 1 2 1 - 1 1

冷蔵庫ホームページ

<http://kadenfan.hitachi.co.jp/rei/index.html>

以上

(添付資料)

大容量冷蔵庫「たっぷりビッグ すみずみクール」プレミアム R-W5700 の詳細説明

1. 世界初(*1)、「電動引き出しルーム」を搭載

本製品は、冷凍室下段と野菜室に、世界で初めて「電動引き出しルーム」(図1)を搭載しました。引き出しの手前に付いている操作ボタン(図2)を押すだけで、従来機種(*2)に比べ約1/10(図3)の力で引き出しルームが開きます。これにより、業界最大容量(*1)173Lの冷凍室下段や、下部に配置されているため、開閉時に力を入れない姿勢になる野菜室が満杯に入った重い状態でも、家族みんなが片手で楽に開けられます。なお、「電動引き出しルーム」は設定を解除することで、従来と同様に手動でも開閉することもできます。

また、冷蔵室には、開ける力を約30%軽減(*2)した「かるピタドア」を引き続き採用しました。



[図1 電動引き出しルーム]



[図2 冷凍室下段の操作ボタン]



[図3 引き出しルームを開ける力の比較]

(*1) 2007年2月13日現在。日本国内メーカーが販売している家庭用冷蔵庫において。

(*2) 従来同等機種 R-SF54VM (535L) との比較。

(*3) N: ニュートン。力の強さを示す単位。

2. 「電動クローザー」で半ドア防止

冷凍室下段と野菜室を閉める際に、引き出しをしっかり最後まで押し込まなくても、冷蔵庫本体に近づくと自動的に引き出しルームを引き込む「電動クローザー」(図4)を新たに搭載しました。これにより、電気代のロスや食品鮮度の悪化を起こす半ドア状態を防止でき、省エネや食品の鮮度保持にも効果があります。



[図4 電動クローザー]

3. 「全室エコアラーム」で省エネに配慮

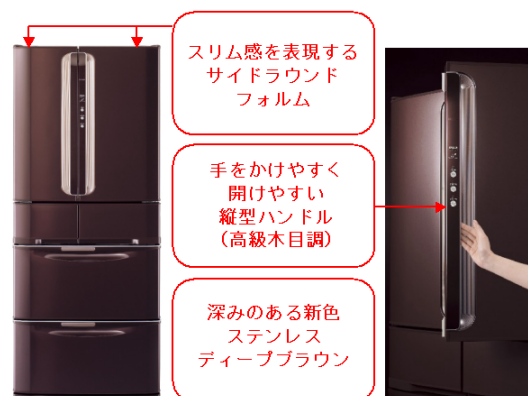
冷蔵室、製氷室、冷凍切替室、冷凍室下段、野菜室と冷蔵庫全室に「全室エコアラーム」を採用しました。半ドア状態が約1分間続くと、冷蔵室ドアの操作パネルに設置された3個のLEDが点滅（図5）し、同時にアラーム音を鳴らすことで、半ドアであることを分かりやすく知らせます。むだな冷氣漏れを抑えることで、省エネに配慮しました。



[図5 全室エコアラーム]

4. 深みのある新色「ステンレスディープブラウン」を採用

オープンキッチンなどに設置することも想定し、本体色は、深みや光沢のある「ステンレスディープブラウン」を新たに採用しました。また、冷蔵室のハンドルは、高級木目調とし、素材感を表現しました。本製品でも、「サイドラウンドフォルム」や、縦型ハンドルも引き続き採用しています。ハンドルやボタンの周囲にはメタリック塗装を施すなど、高品質なデザインと、使いやすさを両立しました（図6）。



[図6 外観デザイン]

5. その他の特長

本製品では、現行の「たっぷりビッグ すみずみクール」R-SF57WMの基本仕様や機能を引き続き採用しました。

「ダブルクール」で隅々まで冷却

冷蔵室には、庫内の中央から食品を冷やすアルミニウム製の「クールパネル」と、「クールパネル」の両サイドから吹き出す冷氣により、大容量の冷蔵室でも隅々まで、食品の温度むらや温度変動を抑えました。

「まんなか冷凍」構造で、省エネ性をアップ

冷凍室を冷蔵庫の中段に配置した「まんなか冷凍」構造で、冷凍室内の断熱材を薄く、最少にしました。また、「ダブルクール」や真空断熱材、当社独自のセンシング技術などにより、省エネ化を進め、業界最大容量（*1）565Lでも消費電力量 610kWh/年を実現しました。

「冷凍切替室」の「うるおい保湿冷凍」で、保存性をアップ

冷凍室上段の引き出しケースに、約65%（一般的な冷凍は約40%）の高湿度で食品を保存し、乾燥や霜付きを抑える「うるおい保湿冷凍」モードを採用しました。また、湿度が約45%の「スピード保湿冷凍」モードに切り替えることができます。

6. 環境への配慮

冷媒は R600a(イソブタン)を採用し、従来から採用している断熱材発泡剤シクロペンタンと併せ、地球温暖化への影響が極めて小さいノンフロン冷蔵庫としました。また、使用する原材料が及ぼす環境への影響を低減するため、電子制御基板や冷凍サイクルなどへの無鉛はんだの採用、六価クロムを含まない電気めっき鋼板やネジを採用し、EUのRoHS指令(*4)に対応するとともに、J-Moss(*5)に基づいてグリーンマークを表示しています。

(*4) Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment の略。欧州連合 (EU) 域内で取り扱う電気・電子機器製品を対象に実施する有害物質規制のこと。2006 年 7 月 1 日以降、鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB (ポリブロモビフェニル)・PBDE (ポリブロモジフェニルエーテル) の 6 物質の使用が制限されています。

(*5) 日本工業規格 (JIS C 0950:2005) 「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」。

新製品の主な仕様

	型式	R-W5700
定格内容積	合計	565L
	冷蔵室	288L
	冷凍室	173L
	野菜室	104L
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)		740 × 1,815 × 688 mm
質量		104kg
年間消費電力量		610kWh/年
本体色		ステンレスディーブブラウン (ST)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
